

3 研究のまとめ

○ 研究の成果と課題

成果について

- 学習状況調査の結果から見える課題について、実態調査問題の解答を分析し誤答傾向を考察することで、生徒に応じた具体的な課題をつかみ授業改善の手立てを考案することができました。
- 授業実践を通して、具体的な課題に対して講じた手立てにより、主体的な学びを展開し、生徒の思考力・判断力・表現力を高め、基礎的・基本的な知識、概念を身に付けさせながら社会的事象の意味、意義を理解させることにつながったことを確認することができました。また、もっている知識や調べて分かったことを活用して、社会的事象の意味・意義を多面的・多角的に考え、説明したり論述したりする力も身に付いてきていることもうかがえました。
- 授業を県内の先生方に公開したことで、より多くの御指摘、御助言をいただき授業改善に生かすことができました。さらに、参観いただいた先生方にも授業改善策を紹介することができました。

課題について

- 理論研究及び授業実践を通して、課題解決のためには、単元を意識した授業づくりに継続して取り組む必要があります。また、学習問題の設定と学習内容をつなぐ単元構成について、多くの単元で実践事例を増やしていく必要があると考えています。

終わりに

平成27年度は、佐賀市立諸富中学校、武雄市立武雄中学校、唐津市立相知中学校において、平成28年度は、小城市立芦刈中学校、武雄市立北方中学校、みやき町立北茂安中学校において、授業改善策を取り入れた授業を公開し、公開授業研究会を開催しました。多くの先生方に参会していただきました。貴重な御意見、御感想を頂き、本研究の成果と課題が明らかになりました。本研究の成果を生徒の学びに還元していただければ幸いです。多くの先生方の御参会に感謝申し上げます。

最後に、本研究に御協力いただきました佐賀県中学校教育研究会社会科部会、公開授業研究会場校の皆様へ深く感謝申し上げます。